



滔天会文化講演会

# 上海と日本人外交官

—上海からみた日中関係の現状報告—

講師 **片山和之** 上海総領事

2018年 2月15日(木) 14:00—16:00 (13:30より受付)

戦前期上海は、総領事館とともに公使館・大使館事務所が設置され、日本の対中外交上の一大拠点であった。当時の文官エリートであった日本人外交官は、なぜ中国との関係を外交的にマネージすることができず、陸軍に代表される武官エリートに翻弄され、あるいは時として同調することによって、明治の開国以来、近代日本が血と汗をもって営々と築き上げて来た遺産を崩壊させてしまったのか。上海で活躍した代表的な外交官の足跡を辿ることにより、彼らが果たした役割と限界、そして対中外交の蹉跎の背景と、現代の日中関係に通じる教訓と視座を提示する。



## 【講師略歴】

片山 和之 (かたやま かずゆき) 1960年、広島県福山市生まれ。1983年、京都大学法学部を卒業し、外務省入省。北京大学、スタンフォード大学に留学し、1987年、ハーバード大学大学院修士号取得 (MA 地域研究)、2011年、マラヤ大学大学院博士号取得 (PhD 国際関係論)。外務省アジア局中国課首席事務官、在中国日本国大使館公使 (経済部長)、在デトロイト日本国総領事などを経て、2015年、在上海日本国総領事。主な著書は『対中外交の蹉跎—上海と日本人外交官』など。

**[主 催]** 滔天会

**[会 場]** 東京都豊島区生活産業プラザ 201会議室

〒170-0013 豊島区東池袋1丁目20-15 電話 03-5992-7011

**[定 員]** 50名 (先着順、満員になり次第受付終了となります)

**[会 費]** 1000円 (当日受付で申し受けます)

## 【申込方法】

メールで講演会事務局 (info@duan.jp) 宛にお名前とご連絡先 (ご住所・お電話番号) をご記入の上、お申し込みください。